

## 相続実務研修

研修目的・ゴール等	相続にかかる法務・税務の基礎知識、実務知識・ノウハウを理解のうえ、業務が実践できるようになる
想定受講対象者	信用事業部門の担当者（業務経験2年以上の窓口・渉外）および管理者
適正人数	推奨：30名（上限：40名まで）
研修日程	2日
研修講師	経済法令

### 【研修プログラム(1日目)】

	10	11	12	13	14	15	16	17
研修内容	実施・解説 理解度(事前課題)確認テストの 開講挨拶・オリエンテーション	講義①(相続の基礎知識) *適宜休憩	(昼食)	講義②(相続の基礎知識(続き)) ・遺産分割 *適宜休憩	講義③(遺言の基礎知識) *適宜休憩	理解度確認テストの実施・解説	まとめ	
時間	10 20	90	60	100	105	30	15	

### 【研修プログラム(2日目)】

	10	11	12	13	14	15	16	17
研修内容		基礎知識 講義④(相続にかかわる税務の) *適宜休憩	(昼食)	講義⑤(戸籍の見方) *適宜休憩	ケーススタディ ・債務者等の相続と実務対応 ・貯金等の相続と実務対応 *適宜休憩	理解度確認テストの実施と解説	まとめ・閉講挨拶	
時間		120	60	75	120	30	15	

事前課題	あり	◇事前課題テキストの読み込み（研修の始めに事前課題テキストに基づき、理解度（事前課題）確認テストを実施する） ※事前課題テキストは受講者へ事前に配布し、受講者は研修当日も持参する
事後課題	なし	

- ★ 本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、県域の実状等に応じて、適宜変更されたい。
- ★ 研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、その際は原則30分以内までとし、事前に講師と調整のうえ、「必須」としているセッション以外での短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会願いたい）。